

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	593千円	580千円	654千円	0千円
	総人件費	819千円	808千円	808千円	
	総事業コスト	1,412千円	1,388千円	1,462千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	01	11	清掃に要する経費

事務事業名	01	一般廃棄物に関する研修				指標名	研修参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	団体等が実施する研修会へ参加した人数				
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
					実績	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人									
総合戦略	-	-	-	-		H28年度				H29年度				その他の指標	-						
					改善目標	-				-											
個別計画	-					事業計画	茨城県清掃協議会主催研修 1回 茨城県清掃協議会主催現地視察研修 1回				事業計画	茨城県清掃協議会主催研修及び 茨城県清掃協議会主催現地視察研修への参加。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				事業計画					事業計画					事業費(A)	75千円	75千円	77千円	0千円		
事業分類	C 義務的事業				活動実績	茨城県清掃協議会主催研修 1回 茨城県清掃協議会主催現地視察研修 1回 へ参加した				活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				成果	県内市町村職員との意見交換などにより廃棄物行政に係る知識の向上を図ることができた。				成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	職員の知識の向上を図るため。				課題	-				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	茨城県清掃協議会主催の研修会や視察に参加する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
	H28環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			一般財源	75千円	75千円	77千円	0千円				
	H29環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	75千円	74千円	74千円					
ISO 14001					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			正職員	従事割合	0.01人	0.01人	0.01人				
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	150千円	149千円	151千円					
													H30年度当初積算根拠	-							
													H30年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	593千円	580千円	654千円	0千円
	総人件費	819千円	808千円	808千円	
	総事業コスト	1,412千円	1,388千円	1,462千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	01	11	清掃に要する経費

事務事業名	02 廃棄物処理施設等の設置に係る事前審査事務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	実績	-	-	-	-											
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標						
根拠法令等	茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例 廃棄物処理施設の設置等に係る事前審査要領	事業計画	事業のつど廃棄物の処理施設の設置に係る意見書を茨城県へ提出する。				事業計画				事業実施コスト						
事業分類	C 義務的事業	活動実績	茨城県により処理施設の設置に関する調整会議が開催され、施設設置に関する意見の確認を行った。				上半期活動実績				H27年度決算						
執行体制	職員のみ	成果	廃棄物の施設設置申請に対する事務を着実に進めることができた。				上半期成果				H28年度決算						
事業の目的	茨城県廃棄物処理施設の設置に係る事前審査要領に基づき、施設が立地する市としての意見書を付すため。	課題	-				課題				H29年度当初						
事業の概要	茨城県廃棄物処理施設の設置に係る事前審査要領に基づき、関係各課の意見を取りまとめ茨城県に提出する。	評価	有効性 中：適切な成果が得られている				有効性 -				H30年度当初積算根拠						
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			事業の進捗状況				H30年度当初						
	H29 環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性 -				理由							
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価 -											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	593千円	580千円	654千円	0千円
	総人件費	819千円	808千円	808千円	
	総事業コスト	1,412千円	1,388千円	1,462千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	01	11	清掃に要する経費

事務事業名	03 最終処分場跡地水質検査事務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-								
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
実績	-		-	-	-	-	-	-	-												
総合戦略	-		H28年度				H29年度				その他の指標										
個別計画	-	改善目標	-				-														
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業計画	安食(2ヶ所),上郷,上郷の水質検査年1回 葛城の水質検査年2回実施する。				安食(2ヶ所),上郷,上郷の水質検査を年1回, 葛城の水質検査を年2回実施する。														
事業分類	C 義務的事業	活動実績	安食(2ヶ所),上郷,上郷,葛城の水質検査を実施した。				上半期活動実績														
執行体制	全て委託	成果	最終処分場跡地を適正に管理できた。				上半期成果														
事業の目的	旧町村最終処分場跡地の適正管理をするため。	課題	-				-														
事業の概要	旧町村最終処分場跡地の水質検査を実施する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-											
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-													
	H29環境関連性	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-													
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-													
												事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初					
												事業費(A)	518千円	505千円	577千円	0千円					
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
												一般財源	518千円	505千円	577千円	0千円					
												人件費(B)	372千円	367千円	367千円						
												正職員	従事割合	0.05人	0.05人	0.05人					
												内職	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
												臨時職員等	無	無	無						
												事業コスト(A+B)	890千円	872千円	944千円						
												H30年度当初積算根拠	-								
												H30年度当初積算根拠	-				理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,483千円	5,528千円	6,256千円	0千円
	総人件費	3,742千円	3,664千円	3,664千円	
	総事業コスト	12,225千円	9,192千円	9,920千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	11	管路輸送施設の管理に要する経費

事務事業名		01 管路輸送施設撤去事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-									
総合戦略		- - - -		実績	-	-	-	-	/			/									
個別計画		-		改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-							
根拠法令等		-			事業計画	管路輸送施設投入撤去工事 3ヶ所を実施する。				管路輸送施設投入撤去工事 3ヶ所(松見公園・大清水公園・カピオ)を実施する。				-							
事業分類		G 建設等事業		活動実績	-				上半期活動実績	-				事業実施コスト							
執行体制		全て委託			成果	管路輸送施設の地上部分を撤去することにより、景観を良好な状態に戻すことができた。				上半期成果				H27年度決算							
事業の目的		平成20年度末で事業廃止となった管路輸送施設のうち、民地に埋設された市所有管について撤去するため。		課題	-				課題	-				H28年度決算							
事業の概要		管路輸送施設の付設投入口を計画的に撤去する。			-					-				H29年度当初							
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		改善目標の進捗状況		-		H29年度当初積算根拠				
		H29環境関連性		有効性		中：適切な成果が得られている				有効性		-				H30年度当初					
				効率性		中：適切な費用対効果が得られている				効率性		-				理由					
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-				-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,483千円	5,528千円	6,256千円	0千円
	総人件費	3,742千円	3,664千円	3,664千円	
	総事業コスト	12,225千円	9,192千円	9,920千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	11	管路輸送施設の管理に要する経費

事務事業名	02 管路輸送施設の管理事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	-	-										
個別計画	-				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
根拠法令等	-				事業計画	管路輸送施設及び敷地植栽の管理を行う。				管路輸送施設及び敷地植栽の管理を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	施設点検・投入ピット水抜き・清掃作業 年4回実施 植栽管理(剪定・芝刈り・除草・病害虫駆除) 年1回実施 年間を通じた警備実施				上半期活動実績				事業費(A)	4,293千円	4,254千円	4,474千円	0千円	
執行体制	全て委託				成果	管路輸送施設及び植栽を適正に管理することにより、安全性の確保や周辺環境を良好な状態に保つことができた。				上半期成果				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	平成20年度末で事業廃止となった管路輸送施設(管路輸送センター及び管路投入口)を適正に管理するため。				課題	事業廃止となった管路輸送センターの建屋取り壊しや跡地利用の計画を策定する必要がある。				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	管路輸送施設及び敷地植栽の管理を行う。				評価	有効性	低:成果が低下(低水準を維持)している			有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	-			事業の進捗状況	-			一般財源	4,293千円	4,254千円	4,474千円	0千円	
	H29環境関連性	-			評価	効率性	低:費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-			人件費(B)	1,486千円	1,466千円	1,466千円		
						総合評価	E:事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り			総合評価	-			正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
														時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
														臨時職員等	無	無	無		
														事業コスト(A+B)	5,779千円	5,720千円	5,940千円		
														H30年度当初積算根拠	-				
														H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	550,421千円	581,650千円	597,480千円	0千円
	総人件費	11,759千円	11,569千円	15,627千円	
	総事業コスト	562,180千円	593,219千円	613,107千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	12	塵芥処理に要する経費

事務事業名		01 家庭ごみ収集事業		指標名	家庭ごみ収集量				指標種別	活動結果指標		指標の概要	9種目(可燃・不燃・粗大・カン・ビン・ペット・古紙古布・蛍光管・乾電池)の収集運搬量
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
総合戦略		- - - -		実績	52,111t	52,073t	52,763t					その他の指標	-
個別計画		-		H28年度				H29年度					
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		改善目標	-				改善目標	-			
事業分類		A 任意的事業		事業計画	一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物を適正に収集し、クリーンセンターへ運搬する。				事業計画	一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物を適正に収集し、クリーンセンターへ運搬する。			
執行体制		全て委託		活動実績	収集運搬量:52,763t 可燃ごみ:45,565t 不燃ごみ:2,014t 粗大ごみ:267t かん:535t びん:1,522t ペットボトル:491t 古紙:2,325t 蛍光管:11t 乾電池:33t				上半期活動実績	-			
事業の目的		生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。		成果	市民の生活環境を良好な状態に保つことができた。				上半期成果	-			
事業の概要		一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物(ごみ)を適正に収集し、クリーンセンターへ運搬する。		課題	-				課題	-			
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-		
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-		
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-		
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
				事業費(A)		532,095千円	557,575千円	573,465千円	0千円				
				内訳		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
						県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
						地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
						その他特財		9,368千円	9,768千円	9,336千円	0千円		
						一般財源		522,727千円	547,807千円	564,129千円	0千円		
				人件費(B)		4,963千円	4,895千円	5,262千円					
				内訳		正職員		従事割合	0.65人	0.65人	0.70人		
						時間外勤務		50.00時間	50.00時間	50.00時間			
						臨時職員等		有	有	有			
				事業コスト(A+B)		537,058千円	562,470千円	578,727千円					
				H30年度当初積算根拠		-							
				H30年度当初積算根拠		理由		-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	550,421千円	581,650千円	597,480千円	0千円
	総人件費	11,759千円	11,569千円	15,627千円	
	総事業コスト	562,180千円	593,219千円	613,107千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	12	塵芥処理に要する経費

事務事業名	02 粗大ごみ有料戸別収集受付事務	指標名	粗大ごみ予約受付件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	粗大ごみ予約受付件数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-	-			
総合戦略	- - - -	実績	10,459件	9,623件	9,648件											
個別計画	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
		改善目標	-				改善目標	-								
根拠法令等	つくば市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	事業計画	専門オペレーターや24時間対応のインターネットによる円滑な受付業務を行う。				事業計画	専門オペレーターや24時間対応のインターネット受付による、円滑な受付業務を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業	活動実績	受付件数：9,648件				上半期活動実績	-				事業費(A)	5,565千円	10,644千円	10,133千円	0千円
執行体制	職員のみ	成果	収集もれ等なく円滑に業務の遂行ができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	粗大ごみの有料戸別収集を円滑に進めるため。	課題	-				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	粗大ごみ受付センターで収集希望者の予約受付を行う。 電話予約：8:30-17:15(月曜から金曜) インターネット予約：24時間	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			一般財源	5,565千円	11,896千円	10,133千円	0千円	
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			人件費(B)	2,283千円	2,251千円	2,984千円		
											正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.40人	
											内職	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間	
											臨時職員等	有	有	有		
											事業コスト(A+B)	7,848千円	12,895千円	13,117千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	550,421千円	581,650千円	597,480千円	0千円
	総人件費	11,759千円	11,569千円	15,627千円	
	総事業コスト	562,180千円	593,219千円	613,107千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	12	塵芥処理に要する経費

事務事業名		03 犬等死骸処理事業		指標名	回収数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	回収数										
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
総合戦略		- - - -		実績	994体	915体	1,003体					その他の指標	-										
個別計画		-		H28年度				H29年度															
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		事業計画	処理業者に委託し動物の死骸を回収し、適正に処理する。				事業計画	処理業者に委託し動物の死骸を回収し、適正に処理する、													
事業分類		A 任意的事業			活動実績					上半期活動実績													
執行体制		全て委託		成果	回収件数：1,003体				課題	-													
事業の目的		生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。			迅速に回収処理することで、公衆衛生を良好な状態に保つことができた。					-													
事業の概要		道路等公共用地で発見された動物の死骸を回収し処理する。		-				-															
ISO 14001	H28 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-										
	H29 環境関連性	-		有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-													
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-													
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-													
				事業実施コスト				H27年度決算				H28年度決算				H29年度当初				H30年度当初			
				事業費(A)				9,280千円				10,055千円				10,190千円				0千円			
				国庫支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
				県支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
				地方債				0千円				0千円				0千円				0千円			
				その他特財				0千円				0千円				0千円				0千円			
				一般財源				9,280千円				10,055千円				10,190千円				0千円			
				人件費(B)				1,115千円				1,099千円				2,958千円							
				正職員				従事割合				0.15人				0.15人				0.40人			
				内職				時間外勤務				0.00時間				0.00時間				10.00時間			
				臨時職員等				無				無				無							
				事業コスト(A+B)				10,395千円				11,154千円				13,148千円							
				H30年度当初積算根拠				-				-				-							
				H30年度の方向性				-				理由				-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	550,421千円	581,650千円	597,480千円	0千円
	総人件費	11,759千円	11,569千円	15,627千円	
	総事業コスト	562,180千円	593,219千円	613,107千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	12	塵芥処理に要する経費

事務事業名	04 粗大ごみ処理券販売等業務委託事業	指標名	粗大ごみ処理券販売枚数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	粗大ごみ処理券(400円)販売枚数				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	実績	23,380枚	23,420枚	24,420枚											
個別計画	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
		改善目標	-				改善目標	-								
根拠法令等	つくば市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	事業計画	つくば市商工会に業務委託して商工会加盟の小売店で処理券を販売する。				事業計画	つくば市商工会に業務委託して、小売店で処理券を販売する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業	活動実績	処理券販売枚数:24,420枚				上半期活動実績	-				事業費(A)	1,686千円	1,758千円	1,692千円	0千円
執行体制	全て委託	成果	市民の便益に寄与するとともに、確実に処理手数料を徴収することができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	粗大ごみ処理券の販売を、多くの小売店で取扱うことにより市民の便益に寄与するため。	課題	-				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	つくば市商工会に業務委託し、商工会加盟の小売店で処理券を販売する。	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			事業の進捗状況	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29 環境関連性	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	1,686千円	1,758千円	1,692千円	0千円	
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	1,115千円	1,099千円	2,198千円		
											正職員	従事割合	0.15人	0.15人	0.30人	
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	2,801千円	2,857千円	3,890千円		
											H30年度当初積算根拠					
											H30年度の方向性					
											理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	550,421千円	581,650千円	597,480千円	0千円
	総人件費	11,759千円	11,569千円	15,627千円	
	総事業コスト	562,180千円	593,219千円	613,107千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	12	塵芥処理に要する経費

事務事業名		05 ごみ集積所設置補助事業		指標名	補助金交付件数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	補助金交付件数						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略		- - - -		実績	35件	41件	31件					その他の指標		-					
個別計画		-		改善目標	H28年度				H29年度				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等		つくば市一般家庭用廃棄物集積所設置補助金交付要綱		事業計画	区会等が設置するごみ集積所について、補助金交付要綱に基づき交付する。 補助金額：設置費用の1/2 (補助限度額50,000円)				区会・住民団体等が設置するごみ集積所について、補助金交付要綱に基づき交付する。 補助金額：設置費用の1/2(補助限度額50,000円)				事業費(A)		1,795千円	1,618千円	2,000千円	0千円	
事業分類		A 任意的事業		活動実績	補助金交付件数：31件				上半期活動実績				内訳		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制		職員のみ		成果	飛散防止対策を講じたごみ集積所が設置されることにより、公衆衛生の向上を図ることができた。				上半期成果				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的		ごみの散乱等を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。		課題	-				課題				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		区会等の住民団体が一般家庭用廃棄物集積所を設置する場合には、補助要綱に基づき補助金を交付する。		評価	有効性 中：適切な成果が得られている				有効性 -				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性 -		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況		一般財源		1,795千円	1,618千円	2,000千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性 -		評価		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価		効率性	-		人件費(B)		2,283千円	2,225千円	2,225千円	
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		内職		正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
												時間外勤務		20.00時間	10.00時間	10.00時間			
												臨時職員等		無	無	無			
												事業コスト(A+B)		4,078千円	3,843千円	4,225千円			
												H30年度当初積算根拠		-					
												H30年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,372千円	4,419千円	5,317千円	0千円
	総人件費	30,022千円	23,093千円	22,563千円	
	総事業コスト	34,394千円	27,512千円	27,880千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	不法投棄対策係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	15	不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

事務事業名	01 市内一斉清掃事業	指標名	ごみ回収量				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市内一斉清掃時ごみ回収量						
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							-	-
実績	-	実績	37 t	28t	27t													
総合戦略	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-							
改善目標	-	よりわかりやすく本事業の趣旨を市民に伝えられるよう周知内容を改善する。				改善目標 広報紙やHP等で事業内容を積極的にPRし、市内一斉清掃への参加を呼びかける。												
個別計画	-	事業計画	多くの市民が参加できるよう区会等への周知を行い、6月及び12月に清掃活動を実施する。				事業計画 多くの市民が参加できるよう区会等への周知を行い、6月及び12月に清掃活動を実施する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	活動実績	広報活動として、5月15日及び11月1日に区会回覧を実施した。また、4月、12月に市報へ掲載した。6月5日及び12月4日に区会等による、清掃活動を実施した。 回収量：6月10,290kg 12月16,500kg 計26,790kg				上半期活動実績				事業費(A)	2,117千円	2,052千円	2,117千円	0千円			
事業分類	A 任意的事業	成果	区会回覧の内容を見直したことで多くの区会参加のもと、道路脇等にポイ捨てされたごみの清掃を行うことにより環境保全意識が高まった。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	一部委託	課題	今後、ポイ捨て行為をなくすため、さらに啓発活動を進める必要がある。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市内一斉清掃を実施し、市民の環境美化意識を高めることで、ポイ捨て行為を抑制するため。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	・原則、毎年6月と12月の第1日曜日に、各区会で道路脇にポイ捨てされたごみの清掃活動を行う。 ・活動を推進させるため区会等への周知を行う。	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001	H28環境関連性	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-	H30年度当初積算根拠					一般財源	2,117千円	2,052千円	2,117千円	0千円		
	H29環境関連性									人件費(B)	4,471千円	2,945千円	2,945千円					
										正職員	従事割合	0.60人	0.40人	0.40人				
										内訳	時間外勤務	5.00時間	5.00時間	5.00時間				
										臨時職員等	無	無	0人					
										事業コスト(A+B)	6,588千円	4,997千円	5,062千円					
										H30年度当初積算根拠	理由							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,372千円	4,419千円	5,317千円	0千円
	総人件費	30,022千円	23,093千円	22,563千円	
	総事業コスト	34,394千円	27,512千円	27,880千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	不法投棄対策係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	15	不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

事務事業名	02 不法投棄ごみ処理事業	指標名	撤去件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	不法投棄廃棄物の撤去件数			
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-			-		
総合戦略	-	実績	233件	376件	357件										
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業計画	区会への周知、啓発と防犯・環境美化サポーターによる巡回パトロールや不法投棄物の撤去を行う。				区会への周知、啓発と防犯・環境美化サポーターによる巡回パトロールや不法投棄物の撤去を行う。								
事業分類	A 任意的事業	活動実績	年間、祝祭日を問わず、357日現場巡回を行った。 ・不法投棄廃棄物の撤去件数：357件 撤去量：25,764kg ・不法投棄防止看板配布枚数：250枚				上半期活動実績				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制	一部委託	成果	現場巡回パトロールを行うことで、不法投棄禁止活動の周知、啓発が図れた。また、迅速に不法投棄物を撤去することで良好な環境を保持することができた。				上半期成果								
事業の目的	不法投棄された廃棄物を迅速に撤去して良好な環境を保持するとともに、再発を防止するため。	課題	-				課題				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	・区会や土地所有者と連携して不法投棄物の撤去作業を行う。 ・再発防止のため、警告看板の設置、促進と防犯・環境美化サポーターによる巡回パトロールを行う。 ・区会等の不法投棄撲滅のための周知啓発を行う。	評価	有効性 中：適切な成果が得られている				有効性 -				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	評価	効率性 中：適切な費用対効果が得られている				効率性 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	H29環境関連性	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
											一般財源	1,894千円	2,079千円	2,740千円	0千円
											人件費(B)	14,883千円	9,564千円	5,901千円	
											正職員	2.00人	1.30人	0.80人	
											時間外勤務	10.00時間	15.00時間	15.00時間	
											臨時職員等	無	無	0人	
											事業コスト(A+B)	16,777千円	11,643千円	8,641千円	
											H30年度当初積算根拠	-			
											H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,372千円	4,419千円	5,317千円	0千円
	総人件費	30,022千円	23,093千円	22,563千円	
	総事業コスト	34,394千円	27,512千円	27,880千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	不法投棄対策係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	15	不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

事務事業名	03	土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する事務	指標名	許可件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	条例に基づく許可件数
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例		事業計画	埋立て等の事業許可事務を行う。無許可埋立て等行為者に対して、指導、監視する。				事業計画	埋立て等の事業許可事務を行う。無許可埋立て等行為者に対して、指導、監視する。				
事業分類	C 義務的事業			H28年度					H29年度				
執行体制	職員のみ		活動実績	無許可埋立て等行為者に対して指導、監視を行った。 ・パトロール実績：357日				上半期活動実績	-				
事業の目的	生活環境の保全と災害を防止し、市民の安全の確保に努めるため。			成果	「残土条例」の改正によって下限値面積を撤廃したことにより、埋立て違反行為に対してき初期の初動対応が可能となったことで、不法な埋立て行為を抑止することができた。				上半期成果	-			
事業の概要	土砂等の埋立て等に関し適正な指導、監視及び許可事務を行う。		課題		-					課題	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠
	H29環境関連性	-	有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	有効性	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	H30年度の方向性	-	
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-	効率性	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			理由
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-	総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	43,664千円	14,468千円	15,498千円	0千円
	総人件費	21,751千円	17,712千円	17,712千円	
	総事業コスト	65,415千円	32,180千円	33,210千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	16	ごみ減量に要する経費

事務事業名	02	ごみ減量のための分別啓発広報事業	指標名	リサイクル率				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市内のごみ(一般廃棄物)総量に対する再資源化の割合							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
実績	-	-	-	-	16%	15.6%	17.1%	18.4%	21.8%	26%	-									
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-						
個別計画	-	-	-	-	改善目標	-				改善目標	-									
根拠法令等	-	-	-	-	事業計画	・印刷及び配布業務を委託し、14万2千部の作成と全戸へポストイングを行う。さらに各窓口センターにも配布する。 ・ごみのカレンダー、出し方ガイド等の広報を継続的に実施するとともに、雑がみ回収など重点的施策に関する広報を定期的に実施する。				事業計画	ごみの出し方カレンダーの印刷及び配布業務を委託し、14万5千部の作成と全戸へポストイングを行う。さらに窓口センターにも配布する。 ごみの出し方カレンダー、出し方ガイド等の広報を継続的に実施するとともに、雑がみ回収など重点的施策に関する広報を定期的に実施する。				内訳	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A	任意的事业	活動実績	ごみカレンダーを作成し、全戸へポストイングを行った。市広報紙掲載を実施した。出前講座を7回実施した。雑がみ回収袋を学校やカスミ等へ配布した。				活動実績	-				事業費(A)	4,060千円		3,535千円	3,194千円	0千円		
執行体制	一部委託	成果	出前講座や広報紙を利用してごみ減量や分別意識の向上を図ることができた。				成果	-				国庫支出金	0千円	0千円		0千円	0千円			
事業の目的	ごみの出し方カレンダーや啓発広報により、ごみの減量やリサイクルの推進を促すため。		課題	-				課題	-				県支出金	0千円		0千円	0千円	0千円		
事業の概要	・ごみの種別ごとの収集日や出し方ルールを記載した地区別のごみの出し方カレンダーを作成し、市内全戸にポストイングで配布する。 ・ホームページ、広報紙、区会回覧、出前講座等を活用し、啓発活動を行う。		評価	有効性 中:適切な成果が得られている 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	有効性 - 効率性 - 総合評価 -				地方債	0千円		0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	4,060千円	3,535千円	3,194千円	0千円					
	H29環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	6,793千円	6,700千円	6,700千円						
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	正職員	従事割合	0.90人	0.90人	0.90人					
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	時間外勤務	40.00時間	40.00時間	40.00時間						
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	臨時職員等	無	無	無						
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	10,853千円	10,235千円	9,894千円						
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-								
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	16	ごみ減量に要する経費

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	43,664千円	14,468千円	15,498千円	0千円
総人件費	21,751千円	17,712千円	17,712千円	
総事業コスト	65,415千円	32,180千円	33,210千円	

事務事業名	03 一般廃棄物処理実施計画策定事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-
総合戦略	-	実績	-	-	-	-												
個別計画	つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業計画	一般廃棄物処理実施計画を策定する。				一般廃棄物処理実施計画を策定する。											
事業分類	C 義務的事業	活動実績	雑がみの回収促進, プラスチック回収方法の検討等を盛り込んだ一般廃棄物処理実施計画を策定し, 8月5日に告示した。				上半期活動実績				事業実施コスト	-						
執行体制	職員のみ	成果	廃棄物処理法に基づき実施計画を策定し, 市民へ周知することができた。				上半期成果											
事業の目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき, 当該年度の一般廃棄物の処理実施計画を定めるため。	課題	-				課題				内訳	-						
事業の概要	当該年度におけるごみの排出量の見込み及び処理主体, また, ごみの排出抑制, 再資源化計画, 収集運搬計画, 広報啓発活動などについて定め, 公表する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況							-	
ISO 14001	H28 環境関連性	有効性	中: 適切な成果が得られている				有効性	-				H30年度当初積算根拠	-					
	H29 環境関連性	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-										
		総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-										
												事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
												事業費(A)	7,691千円	12千円	279千円	0千円		
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
												一般財源	7,691千円	12千円	279千円	0千円		
												人件費(B)	5,227千円	5,156千円	5,156千円			
												正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人		
												時間外勤務	10.00時間	10.00時間	10.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	12,918千円	5,168千円	5,435千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	43,664千円	14,468千円	15,498千円	0千円
	総人件費	21,751千円	17,712千円	17,712千円	
	総事業コスト	65,415千円	32,180千円	33,210千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	16	ごみ減量に要する経費

事務事業名	04 事業系ごみの減量事業				指標名	搬入検査回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	クリーンセンターへ搬入される事業系ごみの検査回数	
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
実績						6回	2回	3回									
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
個別計画	-	-	-	-	改善目標	クリーンセンターへの搬入検査を強化すると共に、啓発による分別の徹底を図る。				改善目標	-						
根拠法令等	つくば市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				事業計画	一般廃棄物減量化等計画書を事業者へ提出させる。クリーンセンターにおいて、搬入指導を実施し収集運搬事業者や排出事業者へ分別搬入の指導を行う。また、排出事業者へごみの減量化及び資源化等の広報をする。				事業計画	一般廃棄物減量化等計画書を事業者へ提出させる。クリーンセンターにおいて、搬入指導を実施し収集運搬事業者や排出事業者への指導を行う。また、排出事業者へごみ減量・資源化等の広報を図る。						
事業分類	A 任意的事業				活動実績	多量排出事業者から減量化等計画書を提出してもらった。クリーンセンターでの事業系ごみ搬入検査を3回実施した。				上半期活動実績	-						
執行体制	職員のみ				成果	事業者のごみ減量や適正処理の意識を向上させることができた。				上半期成果	-						
事業の目的	事業所から排出されるごみを抑制するため。				課題	-				課題	-						
事業の概要	日量平均100kg以上の事業系ごみ排出事業者に対し、一般廃棄物減量化等計画書の提出を求め、一般廃棄物の発生抑制及び適正処理について指導を行う。また、分別に関する啓発を行う。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠				
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-						
	H29環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
													事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
													事業費(A)	43千円	197千円	178千円	0千円
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
													一般財源	43千円	197千円	178千円	0千円
													人件費(B)	5,267千円	5,196千円	5,196千円	
													正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人
													内訳	時間外勤務	25.00時間	25.00時間	25.00時間
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	5,310千円	5,393千円	5,374千円	
													H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	43,664千円	14,468千円	15,498千円	0千円
	総人件費	21,751千円	17,712千円	17,712千円	
	総事業コスト	65,415千円	32,180千円	33,210千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	16	ごみ減量に要する経費

事務事業名		05 焼却灰溶融固化事業		指標名	リサイクル率				指標種別	活動結果指標		指標の概要	市内のごみ(一般廃棄物)総量に対する再資源化の割合					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		- - - -		実績	15.9%	18.5%	-											
個別計画		つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画		H28年度				H29年度				その他の指標	溶融固化量					
事業分類		A 任意的事業		改善目標	-				改善目標	-								
事業の目的		最終処分量削減とリサイクル率の向上を図るため。		事業計画	クリーンセンターから排出され埋め立て処分される焼却灰を年間250t溶融固化し,再資源化する。				事業計画	クリーンセンターから排出され埋め立て処分される焼却灰を溶融固化し,再資源化する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業の概要		クリーンセンターから排出され埋め立て処分される焼却灰の一部を溶融固化し,再資源化する。		活動実績	クリーンセンターから排出される焼却灰を約250t溶融固化し,再資源化した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	11,793千円	10,724千円	11,847千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性		成果	焼却灰を溶融固化することにより,最終処分量の削減とリサイクル率の向上に寄与することができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		H29環境関連性		課題	-				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
				評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	2,724千円	2,892千円	0千円
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			一般財源	11,793千円	8,000千円	8,955千円	0千円
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			人件費(B)	669千円	660千円	660千円	
														正職員	従事割合	0.09人	0.09人	0.09人
														時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														臨時職員等	無	無	無	
														事業コスト(A+B)	12,462千円	11,384千円	12,507千円	
														H30年度当初積算根拠				
														H30年度の方向性				
														理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

事務事業名	01	資源物集団回収支援事業奨励金交付	指標名	団体登録数				指標種別	活動結果指標	指標の概要		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	自治会、子供会、PTA等で構成される団体の登録数		
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標		
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	つくば市資源物集団回収奨励金交付要綱		事業計画	回収団体の登録を受け付ける。登録団体から実績報告を受け、奨励金を交付する。				事業計画	回収団体の登録を受け付ける。登録団体から実績報告を受け、奨励金を交付する。			
事業分類	A 任意的事業		活動実績	・集団回収登録数 139団体 ・回収量 1,374t				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ		成果	リサイクルへの意識の高揚が図れた。				上半期成果	-			
事業の目的	資源物の有効活用の推進と市民のリサイクル意欲の高揚を図るため。		課題	-				課題	-			
事業の概要	資源物の積極的な集団回収を奨励し、資源物集団回収を行った区会や子ども会等の団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付する。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
ISO 14001	H28環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
	H29環境関連性	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			
	-	総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-				
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	H30年度当初積算根拠		-				
事業費(A)		3,676千円	3,666千円	4,100千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
一般財源		3,676千円	3,666千円	4,100千円	0千円	H30年度当初積算根拠		-				
人件費(B)		2,310千円	2,265千円	2,632千円		H30年度当初積算根拠		-				
内訳	正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.35人	H30年度当初積算根拠		-				
		時間外勤務	30.00時間	25.00時間	25.00時間	H30年度当初積算根拠		-				
臨時職員等		無	無	無		H30年度当初積算根拠		-				
事業コスト(A+B)		5,986千円	5,931千円	6,732千円		H30年度当初積算根拠		-				
H30年度当初積算根拠		-				理由		-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名		02 生ごみ処理容器等補助交付事業				指標名	補助基数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	補助基数						
戦略プラン		-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略		-	-	-	-	実績	114基	130基	96基													
個別計画		-				H28年度				H29年度				その他の指標	-							
事業の目的		家庭から排出される生ごみの自己処理を推進し、生ごみ減量化を図るため。				改善目標	-				改善目標	-										
事業の概要		生ごみ処理容器を購入した市民に対し交付要綱に基づき補助金を交付する。 ・コンポスト, EM容器【補助率1/2, 1世帯2基まで, 上限15,000円】 ・電気式生ごみ処理機【補助率1/2, 1世帯1基まで, 上限15,000円】				事業計画	随時受付し補助金を交付する。				事業計画	随時受付し補助金を交付する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
事業の目的		家庭から排出される生ごみの自己処理を推進し、生ごみ減量化を図るため。				活動実績	補助基数 ・コンポスト・EM容器 58基 ・電気式生ごみ処理機 38基				上半期活動実績	-				内訳	事業費(A)	991千円	732千円	1,044千円	0千円	
事業の概要		生ごみ処理容器を購入した市民に対し交付要綱に基づき補助金を交付する。 ・コンポスト, EM容器【補助率1/2, 1世帯2基まで, 上限15,000円】 ・電気式生ごみ処理機【補助率1/2, 1世帯1基まで, 上限15,000円】				成果	家庭から排出される生ごみの自己処理を推進できた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性	-			課題	-				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H29環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況			-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性	-			評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			一般財源	991千円	732千円	1,044千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			人件費(B)	2,256千円	2,225千円	2,592千円			
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.35人		
ISO 14001		H28環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			時間外勤務	10.00時間	10.00時間	10.00時間			
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			臨時職員等	無	無	無			
ISO 14001		H28環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			事業コスト(A+B)	3,247千円	2,957千円	3,636千円			
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			H30年度当初積算根拠	-					
ISO 14001		H28環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-			
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名		03 環境教育事業		指標名	牛乳パック回収量				指標種別	活動結果指標		指標の概要	年間に回収された牛乳パックの回収量							
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略		- - - -		実績	5,194kg	4,944kg	4,210kg					その他の指標	-							
個別計画		-		H28年度				H29年度												
根拠法令等		-		事業計画	・牛乳パック回収量：年3回 ・リサイクル工場見学会参加児童数：80人 ・リサイクル標語				事業計画	・牛乳パック回収回収：年3回 ・リサイクル工場見学会：2日間(4年生) ・リサイクル標語：(7年生)										
事業分類		A 任意的事業			活動実績	・牛乳パック回収量：小中51校で4,210kg ・リサイクル工場見学会参加児童数：4年生80名 ・リサイクル標語応募者数：7年生1,608名				上半期活動実績	-									
執行体制		職員のみ		成果		リサイクルへの意識の高揚が図れた。					上半期成果	-								
事業の目的		リサイクルへの関心を高め、将来、循環型社会の構築に資するため自ら積極的に行動する意識を育成するため。			課題	-				課題		-								
事業の概要		・リサイクル推進標語コンクールの実施 ・リサイクル工場見学会の実施 ・牛乳パック回収事業		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	-			事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-					
ISO 14001	H28 環境関連性	-		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-									
	H29 環境関連性	-			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
		-			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)		958千円	788千円	901千円	0千円	内訳	国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		一般財源		958千円	788千円	901千円	0千円		
				人件費(B)		1,513千円	1,493千円	2,971千円	正職員		従事割合		0.20人	0.20人	0.40人	時間外勤務		10.00時間	10.00時間	15.00時間
				臨時職員等		無	有	有												
				事業コスト(A+B)		2,471千円	2,281千円	3,872千円												
H30年度当初積算根拠																				
H30年度の方向性				理由																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名	04	リサイクル推進啓発広報(3Rニュース等)事業	指標名	区会回覧回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	ごみの情報誌「つくば市3Rニュース」を発行回数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	-	3回	2回	2回	2回	2回	2回	2回				
総合戦略	-	-	-	-	実績	2回	2回	2回				その他の指標	-		
					H28年度				H29年度						
個別計画	-	-	-	-	改善目標	-				改善目標	-				
					事業計画	・3Rニュースを2回発行する。 ・4月 家具類選別の業務委託契約を締結し、選別したものを11月につくばサイエンスコラボで無償提供する。				・3Rニュースを年2回発行する。 ・4月 家具類選別の業務委託契約を締結し、選別したものを11月につくばサイエンスコラボで無償提供する。					
根拠法令等	-	-	-	-	事業計画	-				事業計画	-				
事業分類	A 任意的事業				活動実績	年2回3Rニュースを発行し、つくばサイエンスコラボで、80個のリユース家具を市民に無償提供や雑がみ分別等を周知した。				上半期活動実績	-				
執行体制	職員のみ				成果	リユース意識を高めることができた。				上半期成果	-				
事業の目的	広報活動やイベントで、循環型社会形成及びごみの減量や3Rに対する意識の高揚を図るため。				課題	-				課題	-				
事業の概要	ごみの情報誌「つくば市3Rニュース」を発行し、つくば市ホームページへの記載により、市民に対しごみの減量や3Rの推進を図る。また、家庭からの粗大ごみの内、まだ使用することが可能な家具や小物類を回収し、「つくばサイエンスコラボ」において市民に対し無償提供をする。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				
	H29 環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
												H30年度当初積算根拠	-		
												H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名		05 エコショップ制度推進事業		指標名	新規認定店舗数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	認定店舗数		
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		- - - -		実績	1店舗	0店舗	0店舗					その他の指標	-		
個別計画		-		H28年度				H29年度							
根拠法令等		つくば市エコ・ショップ制度実施要綱		事業計画	エコショップの新規認定及び更新手続事務を行う。				事業計画	エコショップの新規認定及び更新事務を行う。					
事業分類		A 任意的事業			改善目標		-			改善目標		-			
執行体制		職員のみ		活動実績	店舗更新3店舗				上半期活動実績	-					
事業の目的		環境に配慮した活動を積極的に行っている小売店を支援PRするため。			成果	店舗の環境に配慮した活動意欲を高めることができた。				上半期成果	-				
事業の概要		エコマーク商品、グリーンマーク商品の販売、レジ袋削減のためのマイバック持参、リサイクルのための紙パック店頭回収など11項目(1項目でも可)を行っている小売店をエコショップに認定する。		課題		-					課題	-			
ISO 14001		H28環境関連性			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	事業の進捗状況			-	改善目標の進捗状況	-	
		H29環境関連性		有効性		中:適切な成果が得られている		有効性		-		H30年度当初積算根拠	-		
				効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-				H30年度の方向性	-
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-					
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初						
				事業費(A)		0千円	0千円	0千円	0千円						
				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円						
				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円						
				一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円						
				人件費(B)		372千円	367千円	733千円							
				正職員		従事割合	0.05人	0.05人	0.10人						
				内職		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間						
				臨時職員等		無	無	無							
				事業コスト(A+B)		372千円	367千円	733千円							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名	06 レジ袋削減事業				指標名	レジ袋辞退率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	レジ袋辞退率				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績		84%	84%	84%		
総合戦略	-	-	-	-		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
個別計画	-				改善目標	-				改善目標	-				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	-				事業計画	実施店舗から毎月レジ袋辞退率の報告を受ける。				事業計画	実施店舗から毎月辞退率の報告を受ける。				事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業				活動実績	30店舗で実施した。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ				成果	地球温暖化防止に寄与した。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	レジ袋の使用を減らすことで、二酸化炭素排出量を削減し地球温暖化防止に寄与するため。				課題	-				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	市民団体、事業者、市の3者により、「つくば市におけるレジ袋の削減に向けた取組に関する協定」を締結し、平成20年9月1日よりスーパー等でのレジ袋の無料配布の廃止を推進していく。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況			一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			人件費(B)	743千円	733千円	733千円		
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
															時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
															臨時職員等	無	無	無		
															事業コスト(A+B)	743千円	733千円	733千円		
															H30年度当初積算根拠	-				
															H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,748千円	8,383千円	9,237千円	0千円
	総人件費	10,976千円	10,787千円	14,098千円	
	総事業コスト	19,724千円	19,170千円	23,335千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	ごみ減量推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	17	リサイクルに要する経費

事務事業名	07	BDF精製事業 (バイオディーゼル燃料)	指標名	廃食用油回収量				指標種別	活動結果指標			指標の概要	廃食用油回収量				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	10,000L	10,000L	10,000L	10,000L	10,000L	10,000L	10,000L						
総合戦略	-	-	-	-	実績	9,813L	10,070L	10,406L									
					H28年度				H29年度				その他の指標	-			
個別計画	-	-	-	-	改善目標	-				改善目標	-						
					事業計画	拠点回収を行いBDFを精製し、軽油の代替燃料として活用する。				事業計画	拠点回収を行い、BDF燃料を精製し、経由の代替燃料として活用する。						
根拠法令等	-	-	-	-	事業計画	-				事業計画	-						
						事業分類	A 任意的事業				事業分類	A 任意的事業					
執行体制	-	-	-	-	執行体制	一部委託				執行体制	一部委託						
						事業の目的	家庭から出る廃食用油を再利用することで、資源の有効活用を推進するため。				事業の目的	家庭から出る廃食用油を再利用することで、資源の有効活用を推進するため。					
事業の概要	-	-	-	-	活動実績	・回収量：10,406 ・精製量：2,540				活動実績	・回収量：10,406 ・精製量：2,540						
					成果	廃食用油を再利用することで、資源の有効活用を推進できた。				成果	廃食用油を再利用することで、資源の有効活用を推進できた。						
ISO 14001	H28 環境 関連性	-	-	-	課題	-				課題	-						
						事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
ISO 14001	H29 環境 関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-				
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-				
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施											
												事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
												事業費(A)	2,568千円	2,522千円	2,603千円	0千円	
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
												その他特財	0千円	0千円	20千円	0千円	
												一般財源	2,568千円	2,522千円	2,583千円	0千円	
												人件費(B)	1,115千円	1,099千円	1,466千円		
												正職員	従事割合	0.15人	0.15人	0.20人	
												内職	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	3,683千円	3,621千円	4,069千円		
												H30年度当初積算根拠	-				
												H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	9,364千円	4,914千円	2,538,115千円	0千円
	総人件費	3,795千円	7,406千円	7,459千円	
	総事業コスト	13,159千円	12,320千円	2,545,574千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	廃棄物対策課	計画管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	19	リサイクルセンター建設に要する経費

事務事業名	01	リサイクルセンター整備事業	指標名	リサイクル率				指標種別	活動結果指標	指標の概要	市内のごみ(一般廃棄物)総量に対する再資源化の割合						
戦略プラン	9	2	資源の保全・活用	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度				
実績				16%	15.6%	17.1%	18.4%	21.8%	26%			-					
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
改善目標	-	-	-	-	-				-								
個別計画	循環型社会形成推進地域計画			事業計画	リサイクルセンター建設工事を発注する。 リサイクルセンター建設工事監理業務を委託する。 旧炉解体工事発注仕様書の作成業務を委託する。				事業計画 ・リサイクルセンター詳細設計を完了し、建設工事に着手する。 ・旧焼却炉解体工事を実施する。 ・旧焼却炉解体工事設計・施工監理業務を委託する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			活動実績	リサイクルセンター建設工事を発注した。 リサイクルセンター建設工事監理業務を委託した。 旧炉解体工事発注仕様書を作成した。				上半期活動実績				事業費(A)	9,364千円	4,914千円	2,538,115千円	0千円
事業分類	G 建設等事業			成果	施設の建設に向け、円滑に業務を遂行できた。				上半期成果				国庫支出金	309千円	2,088千円	836,627千円	0千円
執行体制	一部委託			課題	-				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	循環型社会の構築に資するため、リサイクルを推進し、ごみ減量化を図っていく効果的な施設を整備するため。			評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	105,900千円	0千円
事業の概要	リサイクルセンター建設に向け必要とされる業務を円滑に遂行していく。			評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	-			事業の進捗状況	-			一般財源	9,055千円	2,826千円	1,595,588千円	0千円
	H29環境関連性	-	-	改善目標の進捗状況	-			改善目標の進捗状況	-			人件費(B)	3,795千円	7,406千円	7,459千円		
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			正職員	従事割合	0.50人	1.00人	1.00人	
													時間外勤務	30.00時間	30.00時間	50.00時間	
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	13,159千円	12,320千円	2,545,574千円	
													H30年度当初積算根拠	-			
													H30年度の方向性	-	理由	-	